

# 幼稚園だより 5月号



## 2025 年度始まりました！

新年度が始まって早1か月。新入児のお友だちは少しずつ保育園に慣れ、様々な遊びを楽しんでいます。在園児のお友だちは一つ大きくなったことを喜び、らっこさんや新入児さんのお世話を頑張ってくれています。昨年とはまた違った個性豊かなメンバーに保育士は振り回されたり、笑わされたり、一緒に遊んだり…楽しい毎日をごさせてもらっています（笑）





## イースターおめでとう！

4月18日はイースターライブがありました。牧師先生からイエス様の復活のお話を聞きました。礼拝を守った後は各グループで卵探し！棚の中やおもちゃの隙間を探し回って卵を見つけましたよ 🥚



気温も高くなり汗ばむ日が増えてきています。活動に合わせた服装ができるように半袖Tシャツの準備をお願いします！散歩に行く日は水筒の準備をお願いしますので毎日ホワイトボードの確認をしてください。

5月27日には親子遠足(くじら・いるか)がありますね！楽しい時間になるように準備していますのでご参加、ご協力よろしくお願ひします😊



# ともだちのためにできることって？？

Aくんは4月で年長になりました。新しい友だちが加わり、グループの雰囲気も変わったことで、Aくんの様子にも変化がありました。Aくんは乗り物の玩具を使って遊ぶことが好きなのですが、遊ぶことが少なくなりました。それは、年下の友だちが遊んでいるので、少し遠慮しているようでほかの遊びをしています。また友だちに自分の持っている玩具を「かして」「ちょうだい」と言われると、譲ることが増えました。日々お兄さんとして頑張っているAくんなのです。

☆そんなある日の土曜日…こんな姿がありました。



Aくんは年下の友だちにいろんな場面で気にかけてあげていました。玩具や道具の使い方を「こうするねん」と言って身振り手振りで一生懸命に教える姿がありました。重くて取れないスケーターを「取ってあげる」と言い、友だちの歩幅に合わせてゆっくり歩くAくんの姿にあたたかい気持ちになりました。これからも子どもたちの素敵なお友達がたくさん増えるグループにしていきたいです。

## さりげなく いつもそばにいてくれるMちゃん

くじらのMちゃんは、小さい頃からお手伝いを積極的にしてくれていました。

昨年度、いるかになってからはコットをともだちと協力して運んだり、お当番活動も積極的に取り組んだりしていました。進級する数か月前からは、年下のおともだちの布団を畳んであげたり、泣いているおともだちにタオルを渡してあげたり、喧嘩して泣いているおともだちを心配したりする姿など…

気が付けばいつもそばにそっと寄り添ってくれるMちゃんがいます。



泣いているおともだちにタオルをとってあげる



粘土をしたいおともだちに用意をしてあげる



段ボールの壁が倒れないように支えてあげる



布団を畳んであげる

Mちゃんは礼拝の時のお祈りにも積極的で、「みんながなかよくあそべますように」「みんながけがをしませんように」とお祈りしてくれています。心のこもったお祈りにほっこりします。

「そっと寄り添う」ってなかなかできることではありませんよね。

保育園最後の1年、寄り添ったり、寄り添ってもらったりしながら日々を過ごしていこうね。

## 「おしえてあげるよ」

コスモ体育指導があった翌日の屋上で、Nちゃんが鉄棒の前回りをしようと頑張っていました。  
「ひとりじゃこわい」と言うNちゃんの側で「ぼくがおしえてあげるよ」と言うKくんがいました。



得意な事に自信をもって、やって見せながら動作を上手に言語化し説明していました。

この後Nちゃんは低い台を使ってお腹をしっかり鉄棒に当てて一人で回れました！

年齢に関係なくそれぞれ得意な事に自信をもって、活かしあっていく。そんな姿がたくさん異年齢クラスの中で見られます。くじらさんになったKくん。この1年でさらに自信を味方につけて挑戦していくってほしいなと思います。

## いきものとの出会いと不思議

3月末、急に暖かくない春の陽気を飛び越して初夏のような日。公園に出ると虫たちが活動を始めていることに気づいた子どもたち。石や葉っぱなどをひっくり返して虫探しに夢中になる子もいました。

Eちゃんもその一人。くじらのYちゃんと、うっこRちゃんと一緒にナメクジを見つけて観察していました。



観察していると丁度、おしきとうんちをする瞬間をみたようです。(砂がくっついているのをそう思ったのかもしれませんか)Eちゃんが興味をもったのはナメクジもうんちをするということ!

「Eはパンパースでしてたからこんなんじゃない!」面白そうに観察し、思ったことを話すEちゃん。



次は、くじらのYちゃんの提案で名前を付けることにしました。

そして、「砂がすきやねん」と、容器に砂を入れてナメクジの住環境を整えていました。

冬の間、その時をじっと待っていた生命が一気に顔を出し、花を咲かせる春。子どもたちにとって生命との出会い、不思議との出会い、そして探求心も深まる春がやってきました。

Eちゃんの「不思議」に寄り添い、これからどんな探求をしていくのかを楽しみにしています!

## 自分でやってみて気づくこと

新聞紙と折り紙を使ってお弁当作りをしているお友達を見てやってみたくなった A ちゃん。

保「何が作りたい？」 A「うーん。おにぎり。どうやってつくったらいいん？」

保「まず新聞紙で形を作って、折り紙で巻いて、テープでとめる」

自分でできるか不安そうな A ちゃんでしたが、おにぎりの形が完成！

A「のりまきたい」 保「のりは何色？」 A「んー、くろ」 やってみます。

A「あれ(テープが)とまってない」貼りなおしてみます。

A「ぶどうつくる。きっといい？」と新聞紙をおにぎりの時よりも小さく切ってみます。

次は黄色い画用紙を見て「たまごやきつくる」と一人でやってみていました。

おにぎりを画用紙と折り紙で作り始めた A ちゃん。

何個か作るうちに「あ、(テープが)ながすぎたかも」という気づきもできました。



何度かやってみるうちに、作るものに合わせて紙を選んだり、どこにテープを留めると良いのか考えたり、長さが丁度良いのかに気づいたりした A ちゃん。  
大人は「こうしたらしいねん」と言いがちですが「どうかな？」と自分で考える、気づける言葉掛けも大事だと思います。紙の性質や、道具の使い方など、やってみて気づくことで自分の中にインプットされます。失敗して、試行錯誤することをこの時期にたくさん経験できるといいですね。これから、先生やお友達といろいろなことを一緒に経験していこうね。

# こんなことできるんだ！！



これはパターンプレートといつていろいろな形をきれいに書くことができます。子どもたちはこのシートを使って、形に色々を描き加えてお絵描きを、楽しんでいます。



3歳児のHちゃんが「丸が書きたい」と言って、このシートを保育士を持ってきました。コツがわかると面白くて、いくつもいくつも丸を書き始めました。

Hちゃんはその丸に目や口を書き加え始めました。保育士が「これは？」と尋ねると「これはHちゃん、これはパパ、ママ」など自分の家族やお友だちの顔も描いていました。それだけでなく、「これはね、ちょっとかなしいの」「ニコニコしているの」などど、自分が描いた顔に表情の違いがある事に気づき、楽しんでいました。

子どもたちは新しいことに対して『何だろう？』と興味を示し、自分なりに試す中で、こうやったら『面白い』を見つけていきます。これからも子どもたちの面白いにじっくり関わっていきたいと思います。

